

昭和女子大学 基礎学力テスト型入試対策講座

(駿台予備学校現代文科講師 今井愛子)

A 出題傾向

a 形式 60 分大問 1 題 (現代文)

b 本文 字数…約二五〇〇字

出題…評論

出典…安田武『手紙の書き方』

難易度…標準

c 設問

難易度は標準であり、オースドックスな設問が中心。全て選択式。

傍線部の内容説明、傍線部の理由説明、接続詞補充、空所補充、内容合致、本文の論旨から導ける結果の理解、語彙、表現、文法、文学史などが出題される。

問 7 では、「出題文章内のコラムに掲載されていた文章」も引用されている。

B 対策

a 読む力

文章は標準であり、時間にある程度余裕がある可能性があるため、きちんと訓練を積みたい。

現代文はまず課題文の内容を理解することが必要であり、読んでいる段階で理解が不十分な場合設問を解けないため、しっかりと文章に向き合ってその内容を読み取ることが求められる。正しい読み方を身につけていこう。

日々の学習のなかで様々なジャンルの文章を読み、慣れていくことも大切だ。

b 解く力

基本的な設問で失点をしないよう注意したい。

特に傍線部の内容説明や内容合致問題は「a 読む力」によるところが大きいので、焦らずまずは本文の内容をじっくり読み取ろう。

c 語彙力

漢字や語彙の問題は、分量は多くないとはいえ出題されるし、語彙力向上が読解力向上につながるため、きちんと対策したい。

学習の際は漢字の形だけではなく、意味も併せて覚えよう。

C 具体的な練習方法

一般入試の過去問や参考書を利用し、練習を積む。

まずは時間をはかり、設問を解く。その後答え合わせをする前に、もう一度じっくり本文を読み返し、答えを出してみる。その際、解答根拠を明確にしたい。その上で答え合わせをし、1 度目と 2 度目の得点の差を含め本文を検討する。最後に、漢字や語句の意味など暗記すべき知識を確認する。

☆読解のポイント☆

ポイント①

大事なことは、繰り返される。

大事なことは、形を変えて繰り返される。

↓「大事なこと」＝「筆者の主張」

↓「大事なこと」に、線を引きながら読み進める。

ポイント②

話題を、かたまりでつかむ。

↓「どこからどこまでが同じ話題か」を考える。

ポイント③

具体例は、筆者の主張を理解するための道具。

↓「たとえば」で始まる部分など、具体的な内容は（ ）でくくる。

↓具体例は軽く読む。具体例の前後に書かれている主張を、丁寧に読む。

↓複数の具体例が並んでいる場合は、共通点を考える。

↓具体的な表現を、抽象化して理解する。

ポイント④

疑問文は、主張を導く。

↓問題提起型疑問文は、答えを探せ。答えが主張になる。

↓強調型の疑問文は、疑問文自体が主張。

ポイント⑤

対比を整理する。

↓筆者にとって⊕の意見か⊖の意見かを整理すると分かりやすい。

☆文学史☆

永井荷風（ながい かふう）

一八七九年～一九五九年。

実業家のもとに生まれ親の意向でアメリカ留学をする。しかしアメリカの後フランスに渡り、同時代のフランス文学を身につけて帰国した。帰国後、『あめりか物語』『ふらんす物語』を発表。慶應義塾の大学の教授となり、『三田文学』を創刊する。明治末期からは江戸文化に回帰し戯作者のように生きた。主な作品に『腕くらべ』『つゆのあとさき』『澤東綺譚』『断腸亭日乗』などがある。

☆文法☆

口語文法について簡単にまとめました。

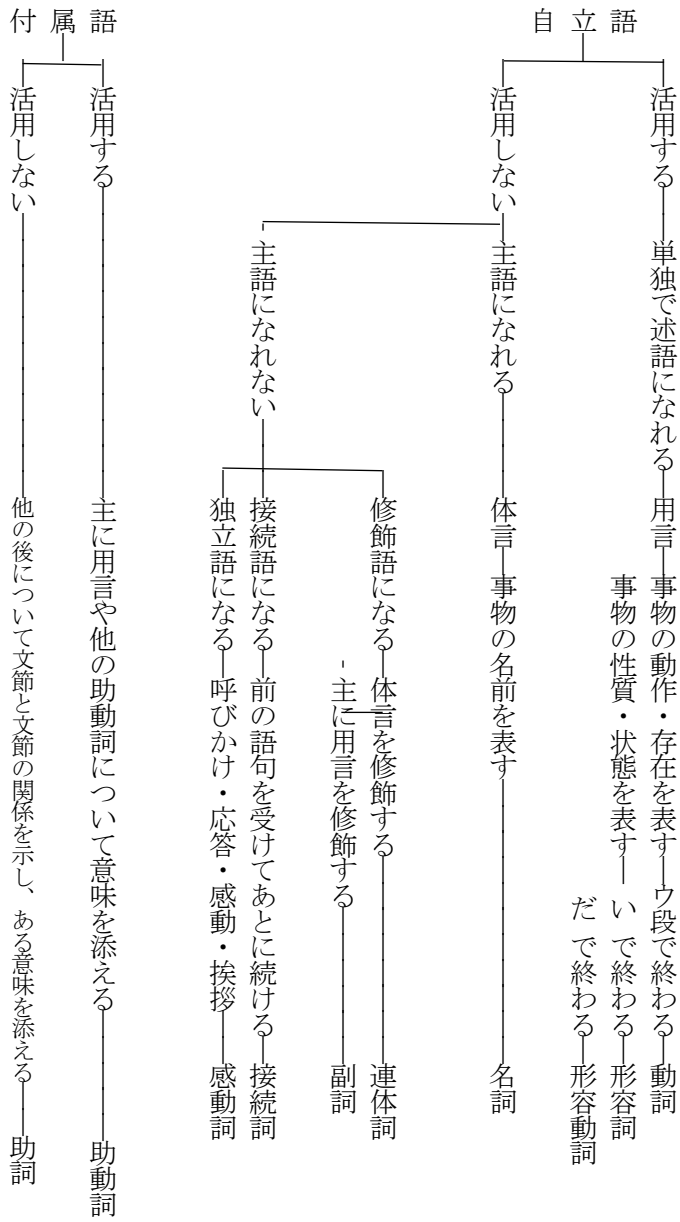
さらに詳しく学習したい場合は、講座内で言及した『国語便覧』などを参考にしてください。

口語Ⅱ話し言葉

文語Ⅱ文章だけに用いる特別の言葉

【品詞表】

「単語」には、「自立語」と「付属語」の二種類があります。



〔例題〕古文のように、品詞分解をしてみましょう。

私は昭和女子大学の学生です。

【助動詞(意味による分類)】

- ①受け身・尊敬・自発・可能…れる・られる
- ②使役…せる・させる
- ③希望…たい・たがる
- ④否定〈打ち消し〉…ない・ぬ(ん)
- ⑤意志・推量・勧誘…う・よう
- ⑥確認・過去・完了・存続…た
- ⑦丁寧…ます
- ⑧断定…だ・です
- ⑨推定〈様態・伝聞・比況など〉…らしい・ようだ(ようです)・そうだ(そうです)
- ⑩否定の意志・否定の推量…まい